

序



本学は、昭和26年開学以来本年をもって満10年を経過した。この間、幾多の内外の苦難に遭遇しながらよくこれに堪え、幾重ものハンディキャップを克服して教育研究に努力し、今日の本学を築くに至ったことを顧みて、まことに感慨の深いものがある。

本学が立地する環境から、島根県を中心とする地域社会と結びつき、研究対象をそこに把えて、斯界に貢献せんとする意欲と、その結果が漸次認識せられつつあることは、よろこばしいことであるが、更に10周年を迎え、これを契機として一段と努力し進展を期したい。

この研究報告書は、時あたかも10周年に当るので、その記念論文集ともなるわけである。もとより、予算に制抑せられ、発表に意を尽すことができなかつたであろうし、全教員の研究を収録するわけにもいかなかつたことは、残念に思う。

昭和36年3月

島根農科大学長

竹 崎 嘉 徳